

○山室幼稚園

- Q. 環境がよく、地元の方のバックアップもある。子どもたちの人数は少ないが生き生きとしていて、保護者の関係も良い。できるだけおおきな面積が必要ということがすべてか。山室幼稚園の存続意見は嬉しい。親しみがあり、ぬくもりのある保育環境を守っていくことや、存在する建物を大切にすることもしてほしい。
- A. あり方基本方針はH28 から検討会が立ち上がり策定された。松阪市の子どもが少なくなってきたが、数字的に15人はラインであるがすぐに休園という話ではなく話し合いを持っていく。
- Q. 環境がいいということがメリットで遠くから通っている方もあるが、地元の方が通わないのはなぜか。お金をかけなくてもいい環境、施設を作るべきでないか。休園にするべきではない。休園になるという噂がたたないようにしていかななくてはならない。環境がいいというが木々は伸びっぱなし、道路をなおすということも目についてほしい。入園児が少ないのはPRが足りないのではないか。行政として人を集めることはできないか。ホームページの見落としも多く、もっとPRする方法を考えてほしい。
- A. 30年4月から幼稚園もこども局の管轄になったので、アピールしていく。また、各園でそれぞれのやり方でPRしていくのも一つの方法である。
- Q. 3歳児保育、またはこども園として乳児保育を始めてはどうか。ニーズにあうのではないか。
- A. 考え方の一つではある。今のところ認定こども園にするしないということは、様々な課題がある。幼稚園を認定こども園にすると、今、保育の必要な方の受け入れというニーズには合うのかと思うが、入園できない子どもが増える。また、幼稚園なら0.1.2歳児の保育の機能や給食調理室も揃えなければならない。山室幼稚園で、今の園舎では面積的に難しい。

○幼稚園

- Q. 保育園の入園基準があるが、短い就労時間なら、幼稚園に移行させ、低年齢児の保育士数を増やせられるのでないか。
幼稚園、保育園の園児数だけを見ると、幼稚園児が少なく不安になる。入園説明時に特色を伝えることはできないか。
- A. ホームページで保育園の写真や一日の流れを掲載しPRしている。幼稚園の作成はしていないが、工夫が必要である。

- Q. 保育時間は2時までなのはなぜか。
- A. 幼稚園の保育時間は4時間を基準とすると国(幼稚園教育要領)で決まっている。
- Q. 預かり保育は旧松阪市内の幼稚園で行う予定はあるか。
- A. 4時までの保育は保育園と同じになってくるので、幼保の住み分けを考えている。

○公立保育園

- Q. 古い保育園があるのに、順番でなく春日保育園の建設が先になった理由は。
- A. 順番もあるが土地の問題もある。鉄筋の耐用年数もあり、土地の確保ができたというチャンスを公立として逃したくないこともあり、先になった。春日保育園は面積が確保できたので定員を増やしていくことを考えている。花岡地区に5000~6000㎡の土地の確保は難しい。私立の真横に建設するわけにもいかない。第二保育園のこともある。若草保育園とは近く古い園舎であり、駐車場の確保も難しい。以前に近所の土地を借りたが、いつ借りられなくなるかわからない状況ではある。
- 平屋で考えているので、今の場所では難しい。

○その他

- Q. できるだけ大きな面積が必要ということがすべてか。山室幼稚園の存続意見は嬉しい。親しみがあり、ぬくもりのある保育環境を守っていくことや、存在する建物を大切にすることもしてほしい。推計の中に課題が見える。ここに潜んでいるのは公立に魅力がないということではないか。社会の必要性がなくなっていく。本当にそれでいいのか。公立の魅力を上げることを考えていかなければならない。私立の存在も大切である。公立に入園させたくてもできないのか。希望が減ってきているのか。私立は増え、公立は減るということはまずいのではないか。ここに大きな問題がある。利用しにくい何かがあるのか。実際に差が出てきたときに手を打っても遅い。公立の意識をたかめてほしい。
- A. 公立は補助が入らないが、私立は補助があるという状況で、国から出されることも二つに分かれている。幼児教育の無償化ということも言われているので、今から数字をつかんでいきたいと動き始めている。公立は大きくしていきたいと思っている。保育士不足、駐車場の確保が難しい、老朽化もある。子どもの人数が減ってきているが、定数を減らすわけではない。子どもたちの安全安心を考え、公私立が共存していくことも考えている。私立の改築の際には乳児の枠を増やす体制で考えてもらっている。子どもたちにとって

いい環境で保育をしたい。

- Q. 公立保育園の子どもの数の減少の推計は小泉内閣で財源が減少したことも影響しているというハンディがある。公立保育園の環境を整備するより、認可私立保育園の建設をという取り組みを進めてきた経過がある。公立保育園も考える時期がきたのではないか。
- A. すぐに統廃合があるわけではないが、今、話し合う時期が来ている。

○園長より

- ・自然いっぱいのなかで保育が出来ることはなかなかない。最大のメリットを生かし、保育、教育をしている。兄弟がみえると入園を期待されているが、検討会が立ち上がったことで入園をされない方もある。3歳児保育はなぜないのか。3歳児保育のない幼稚園は休園になっている。このことが園児の増えない原因ではないか。山室幼稚園存在が知られていないので、PRしたり、パンフレットを作成した。[山室幼稚園]
- ・老朽化の中でも職員が工夫をし、楽しく安全に保育をしている。駐車場が遠いことや門が道路に面していることは保護者や子どものことを考えると大変であると感じる。公立保育園の保育がよくなるように各園が連携をとり情報交換をしている。[花岡保育園]
- ・公立保育園として一貫した保育の中、課題も話し合い、保育をしている。独自の駐車場はないことから、スピードを出し通過される車もあり、なかなか駐車できなかつたりする。協力はしていただいているが、行事は曜日が限定されてしまい保育も左右されることがある。園庭ももう少し広くほしいという思いもある。保育をしっかりと考えていきたい。[若草保育園]
- ・駐車場は私有地を借りている。通りの多い道路を渡らなくてはいけないことから、危険なことも感じている。公立保育園として大切にしていかなければならないこと、しっかりと考えていく。保育士不足でもあり、保育の質を落とさないようにこれからも学んでいく。[駅部田保育園]